

平成31年1月10日
自治連合会懇談会



次の50年を見据えた 生駒市のまちづくり方針

こむらさき まさし
生駒市長 小紫 雅史



今日お話ししたいこと

- I データで見れば **生駒市はこんなにすごい街**
- II **生駒のまちづくり「5つのキーワード」**
- III **次の50年を見据えて**



データで見れば

I 生駒市はこんなにすごい街

① 定住希望率

生駒市にこれからも住み続けたい人の割合

84.7%

(類似団体)

関西：河内長野市 47.1% / 泉佐野市 54.5% / 三田市 60.0% / 箕面市 80.9%

関東：東村山市 66.5% / 武蔵野市 81.3%

②平均寿命

生駒市民（男性）の平均寿命（平成27年度・厚生労働省）

82.4才

（**全市町村中第9位**、奈良県内第1位：全国平均80.8才）

生駒市民（女性）の平均寿命

87.6才

（**県内市町村中第3位**：全国平均87.0才）



③ 安心・安全

(人口千人あたり年間件数 平成29年)

刑法犯認知件数

4.74

県内12市中最も低い

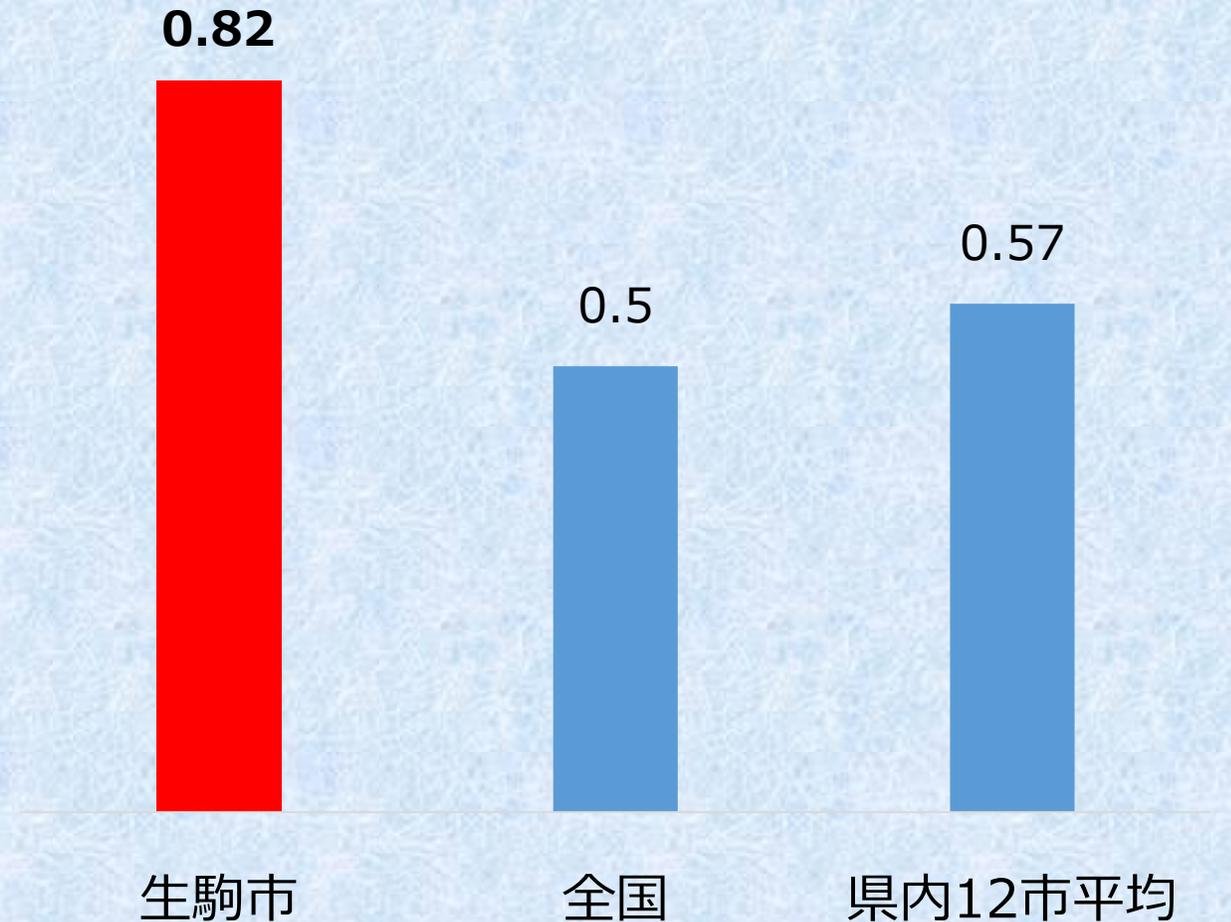
人口千人あたり刑法犯認知件数 (件)	
奈良市	7.07
大和高田市	7.37
大和郡山市	7.47
天理市	8.28
橿原市	9.45
桜井市	6.45
五條市	6.00
御所市	6.03
生駒市	4.74
香芝市	5.61
葛城市	5.16
宇陀市	7.72
全市平均	6.97

④ 財政力指数

0.82 (平成28年度)

全国平均 0.5

県12市平均 0.57



⑤ 住みよさランキング

(2018年：東洋経済新報社)

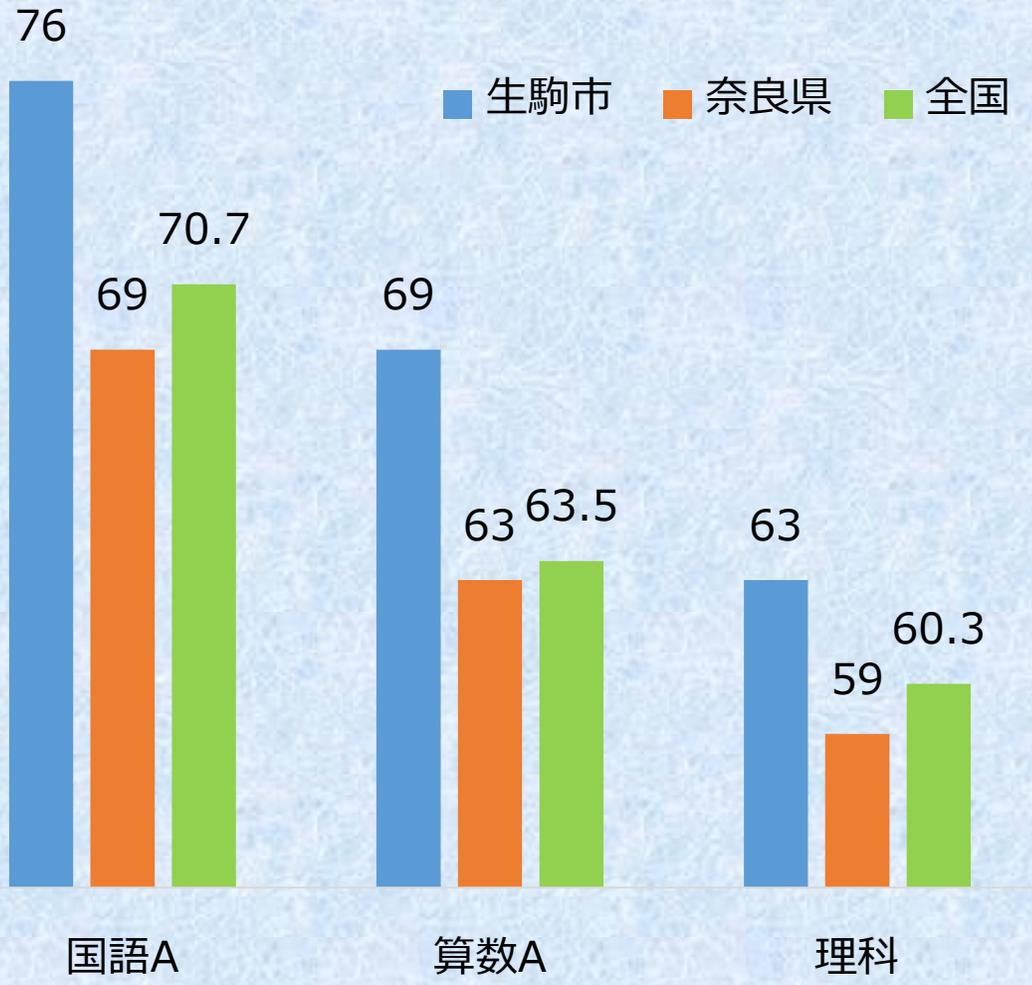
奈良県 1位 (関西13位)



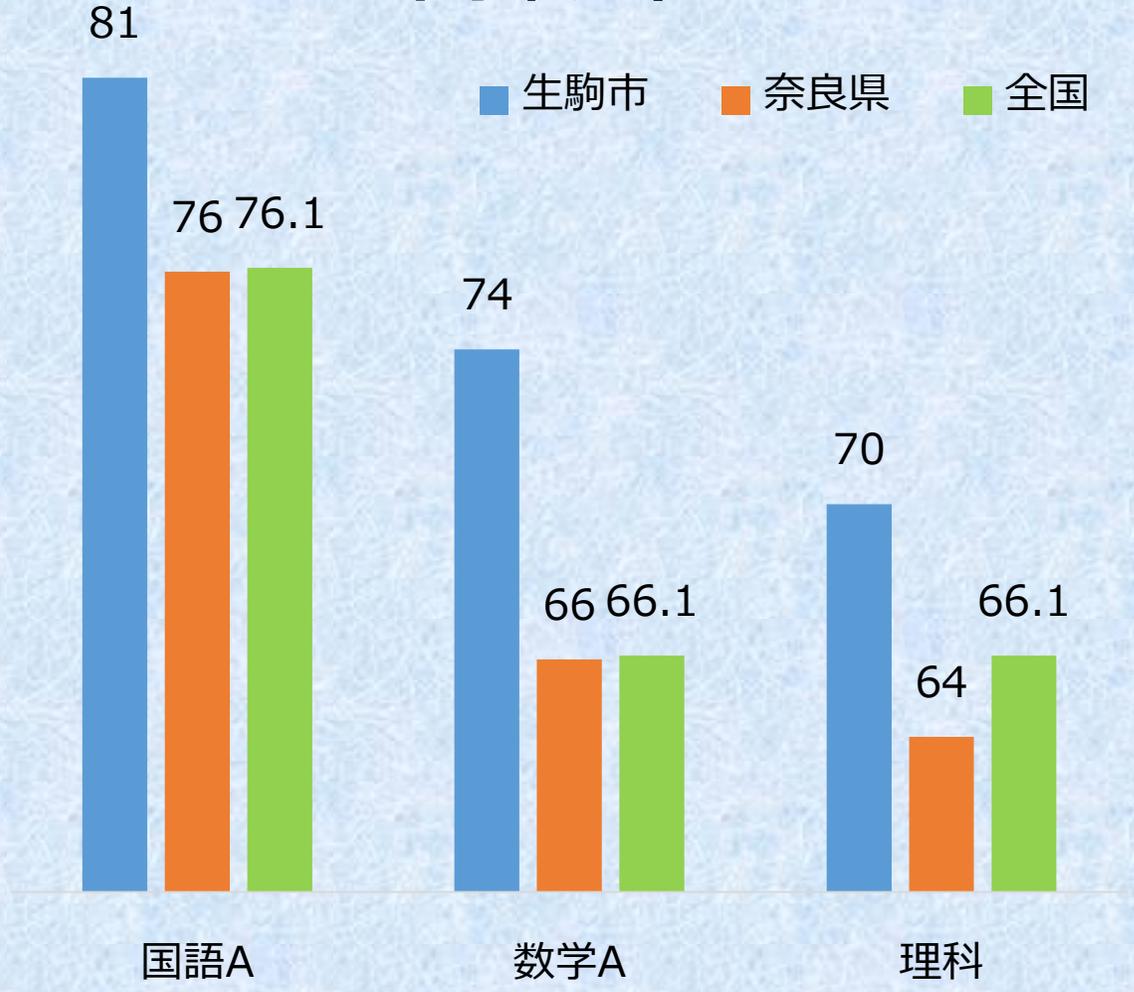
⑥ 全国トップレベルの学力

(平成30年文部科学省調べ)

小学校6年生



中学校3年生

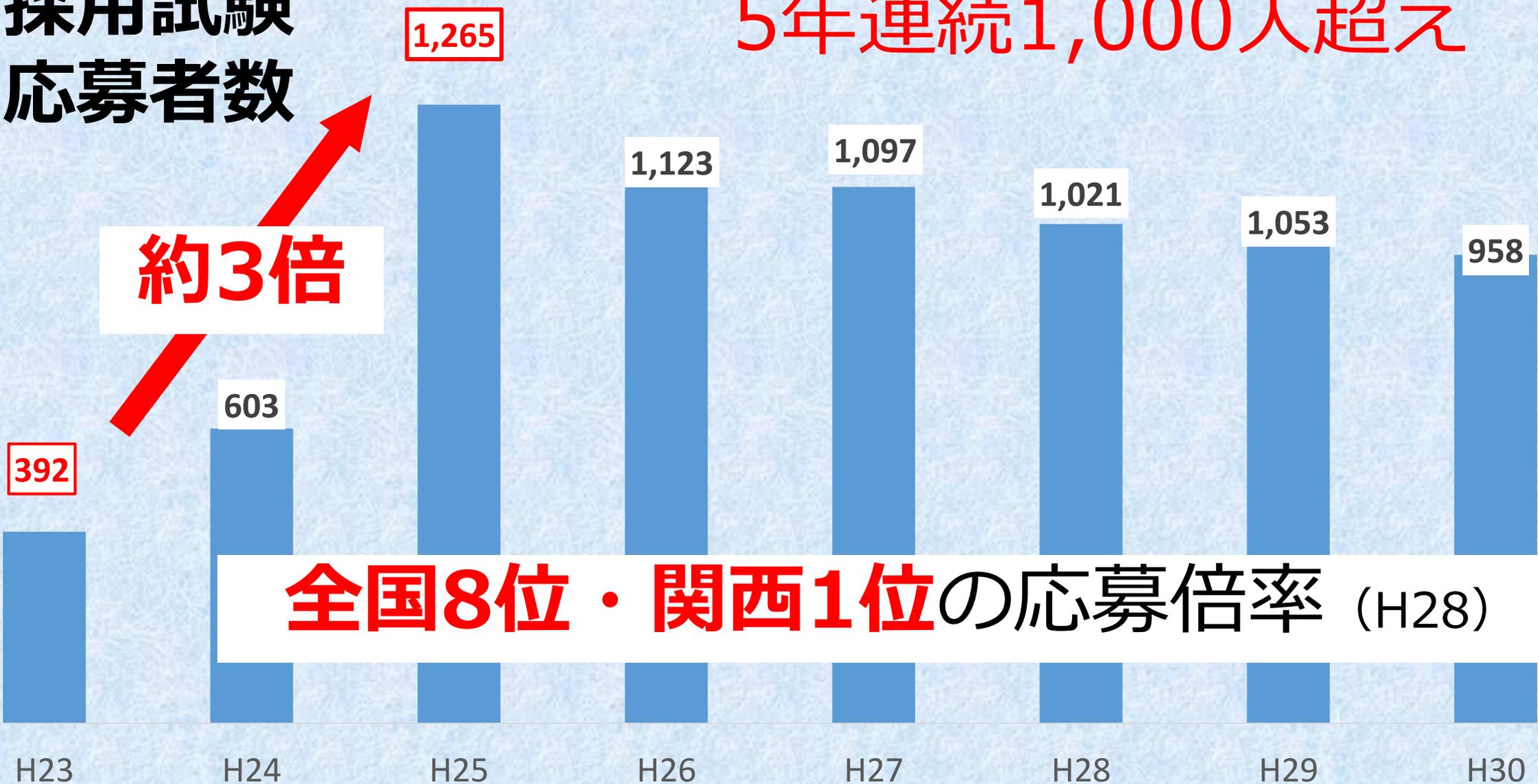


⑦採用試験 応募者数

5年連続1,000人超え

約3倍

全国8位・関西1位の応募倍率 (H28)



これからの生駒のまちづくり

Ⅱ 「5つのキーワード」



① 「自治体3.0」のまちづくり

**市民と行政がともに汗をかきながら
進めるまちづくり**

行政でないとできないこと

→ どの自治体にも負けないスピード・質



市民・事業者も取り組めること

→ みんなの課題はみんなで解決、ともに汗をかく



② 人生100年時代のまちづくり

「ワーク・ライフ・コミュニティの融合」

divercity
ダイバーシティ

ベッド
タウン



ワーク
ライフ
バランス



仕事
Work

家庭
Life

地域社会
Community



③ 12万人総親和のまちづくり

市民全員のかを一つにする(Inclusive)

- ・ 生駒市内の各地域、新旧住民、各世代間、また、疾病や障害の有無、国籍や性別などの違いを超えて、それぞれの特色を生かしながら自然な形で融和
- ・ 生駒市民12万人が助け合いながらもお互いの力を合わせて安心して楽しく過ごせるまちづくり



④ 「稼ぐ」まちづくり

生駒市の強みや特性を最大限に生かす

- ・ 事務事業の見直しなど徹底したコスト削減
- ・ 市民・商工会議所・事業者等とともに住宅都市いこまの強みや特性（自然・伝統、先端技術、退職者や主婦のスキル、市民力など）を生かしたまちの活性化



⑤ 最先端技術と自然・歴史・芸術が つながるまちづくり

- AI、ICT、ロボット、バイオなどの最先端技術と、全国屈指の豊かな自然・伝統文化・芸術が融合するいこまの特性を最大限に生かしたまちづくり
- 2025年大阪万博を活かし、世界的にも大きな注目を集める地域を創る



Ⅲ 次の50年を見据えて…



人口減少・少子高齢化・地方創生・人生100年時代・AIの進展
など、社会は激動に変化



単なる「ベッドタウン」を卒業し

「新時代にふさわしい“新しい”住宅都市」

を創ることが不可欠



生駒市は2021年に**市制50周年**



これまでの50年を土台に

「次の50年の発展」

を見据えたまちづくりを進めます！

